

山 弓 連 令和5年第1号

令和5年5月 発行：山梨県弓道連盟

令和5年 新体制のもと ポスト？コロナのスタート ～ 競技力向上に向けて ～

山梨県弓道連盟会長 菊池敏彦

役員改選により、新しい体制がスタートしました。副会長と理事長を兼任していた森岡博文氏が副会長専任に、副理事長の綿奈部博史氏が新理事長に、総務部長の芦澤茂幸氏が新しく副会長に（副会長1名増員）、新総務部長に中村昌夫氏、5期10年務めた西堀泰弘氏が審査部長を退き新審査部長に標輝人氏、3期6年務めた古屋浩元氏に替わって新指導部長に佐野弥生氏があたります。会長菊池敏彦、副会長深澤武重氏、選手強化部長五味光仁氏が留任となりました。新体制のもと、山梨県弓道連盟発展のため、各支部各会員のご理解ご協力をお願いいたします。

昨年のこの挨拶の中で、課題として「会費に関して＝分担金への対応＝」と、「ブロック・支部ごとの会員数の開き」の2点をあげさせていただきましたが、本年4月1日現在の会員数が昨年同期を若干上回ることとなりました。分担金の負担についても会員各位のご理解をいただくことができたものと感謝申し上げます。また、ブロック・支部ごとの会員数の開きからくる「演武」や「当番担当」の負担感については、引き続き検討課題として取り組んでいくとともに、解決策についてご意見等を積極的に寄せていただければと考えます。

「矢渡」が帰ってきました。新型コロナウイルスの感染拡大により、ここ3年間は大きく日常が制限されてきました。令和2年度はほとんどの行事が中止を余儀なくされ、令和3年度についても大きな制約がありました。令和4年度は感染予防に注意しながらも、大会、審査会が実施されましたが、納射会・初射会以外は「矢渡」は見送られてきていました。

4月9日の勤労者選手権・全国ねりんピック大会県予選及び4月16日の段位別選手権大会兼全日本選手権・関東選抜大会一次予選のそれぞれの開会式に続いて、「矢渡」が実施されました。ポストコロナはまだまだ先かもしれませんが、ウィズコロナとして、各行事において、コロナ渦で得られた多くの知見（審査の時間別受付など）を加えながら、新しい工夫を加えていければと考えています。

令和4年度は、地連対抗得点が「0」でした。対象となる大会は、全日本弓道大会、全日本選手権大会、同遠的大会、国民体育大会、全日本勤労者大会、全国高校総体、全国高校選抜大会、全国中学生大会です。対象各大会、ベスト8まで得点が高いです。そんな中で得点「0」、一人では勝てません。会員一人一人の競技力の向上が大きな課題となります。各層の一層の精進を期待して年度初めの挨拶とさせていただきます。頑張りましょう。

令和5年度役員一覧

役職名	氏名
名誉会長	天野 裕
顧問	秋山 照美
顧問	古屋 俊彦
顧問	上野 捷利
会長	菊池 敏彦
副会長	深澤 武重
副会長	森岡 博文
副会長	芦澤 茂幸
副会長	中沢 友二
理事長	綿奈部 博史
理事 総務部長	中村 昌夫
理事 指導部長	佐野 弥生
理事 審査部長	標 輝人
理事 競技部長	山下 弘行
理事 選手強化部長	五味 光仁
監事	標 衣枝
監事	古屋 浩元

太字は新任者

新任理事あいさつ

総務部長 中村昌夫

芦澤副会長より引継ぎを受け早1か月、今まで競技などの運営に携わっていたものの専門部の長としての経験は無く、戸惑うことばかりであり力不足を日々実感しております。

部員の皆様からお力添えを、また諸先輩方からご助言を賜りながら務めを果たして参りたいと存じますので、会員の皆様におかれましては何卒よろしくお願い申し上げます。

指導部長 佐野弥生

今年度より指導部長を務めさせていただくことになりました佐野です。

古屋浩元先生の元、6年間指導部でお手伝いさせていただき多く学びがありました。

菊池会長はじめ、多くの先生方の力をお借りし、今まで学ばせていただいたことを無駄にすることなく、会員の皆様に満足して頂ける講習会運営を心掛けて参りたいと思います。未熟者ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。

審査部長 標 輝人

今年度から審査部長を拝命しました、標 輝人(しめぎ てるひと)です。現在の勤務では日曜日の出勤が多く、審査当日に不在のこともあります。業務に滞りがないよう着実に務めて参ります。今年度もまた、一人でも多くの県連会員の皆様が昇段できますことを願っております。よろしくお願いいたします。

令和4年度定期総会

令和5年3月19日、山弓連定期総会が開催された。議案審議に先立ち、会長表彰として、10年にわたり審査部長を務められた **西堀泰弘氏**、多くの高校生の指導にあたり優秀な選手を育てた功績

に対し**名取良太氏**(南アルプス市)に感謝状が手渡された。



西堀氏



名取氏

議事審議については、令和4年度事業報告、決算・監査報告がされた後、役員改選にあたり新しい役員が提案され、全員一致で承認された。

新役員により令和5年度事業計画(案)、予算(案)が提案、審議され、付議内容通り議決された。



大会結果

令和4年度オンライン全国弓道大会

令和5年3月21日(火) 緑が丘弓道場
北は北海道から南は沖縄まで全国から42地連の参加で開催された。

競技は各地連の道場で行われ、競技の様子はオンラインで接続し、同時進行でおこなわれた。

競技方法：5人立 各自4射1回にて上位16

チームが決勝トーナメント進出。

決勝トーナメントは4射1回のトーナメント戦

【結果】

山梨県チーム

内藤 良太 錬五 (南アルプス)

根津 里美 錬六 (笛吹)

渡辺 元樹 五段 (富士吉田)

鮫島 誠一 錬六 (甲府)

綿奈部 博史 教七 (甲府)

★ 予選13中にて予選敗退

令和5年 初射会

令和5年1月8日(日) 緑が丘弓道場
 新年早々の射会に66名が参加、令和4年の昇段、昇格者、中村昌夫(教六)、酒井紀夫(錬六)、平出恭代(錬六)、神田英彦(錬五)、渡辺純子(錬六)の方々の祝賀行事の後、菊池会長の矢渡し、峡東地区代表者による演武、昇段、昇格者による答射礼がおこなわれた。

射会は参加者全員による祝射一手と四ツ矢により行われ、結果は以下の通り。

射数 祝射一手と四ツ矢 計6射

参加申込人数 74名 参加者 66名

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果		
優勝	山下 弘行	山梨	錬士六段	5	○	○	
2位	上條 剛央	上野原	錬士六段	5	○	×	
3位	中村 昌夫	山梨	教士六段	5	○	×	

5中者5名による射詰競射,2位3位は遠近競射



入賞されたみなさん

高校三年生・社会人交流大会

令和5年2月4日(日) 緑が丘弓道場

競技内容: 3人団体戦 各自4矢2回 得点制(中心から10、7、5、3点)

参加申込チーム 21チーム 参加者 57名

【団体】

高校生の部

	チーム名	選手名	得点
優勝	甲府工業	古屋 羽琉	76
		松沼 航生	
		堀内 魁	
準優勝	甲府商業 B	中村 美紀	54
		堀内 心寧	
		菊池 彩恵	
第三位	甲府商業 A	新家 和佐	52
		佐々木 由佳	
		三瀬 華蓮	

社会人の部

	チーム名	選手名	支部名	得点
優勝	Iラブ南ブス	保坂 友美	南アルプス支部	56
		望月 菜央		
		中込 実		
準優勝	甲州市	鈴木 誠	甲州支部	55
		野口 努		
		高埜 よしみ		
第三位	富士吉田	桑原 良	富士吉田支部	45
		渡邊 優		
		渡辺 佐登志		

上位得点本数による

【個人】

高校生 最高得点賞(42点) 堀内 魁 甲府工業高校

社会人 最高得点賞(27点) 鈴木 誠 甲州支部

【ゴールド賞】

堀内 魁 (甲府工業高校) 渡辺 佐登志 (富士吉田支部)

横澤 英俊 (中央支部) 菊池 彩恵 (甲府商業高校)

鈴木 誠 (甲州支部) 市川 明 (笛吹支部)

ねんりんピック大会 県予選

令和5年4月9日(日) 小瀬武道館弓道場

令和5年10月28日~31日 愛媛県松山市で開催される、標記大会の代表選手選考会が開催され、以下の代表選手が決定された。

区分	氏名	称号・段位	支部名
選手兼監督	綿奈部 博史	教士 七段	甲府
選手	雨宮 哲	五段	笛吹
選手	佐野 辰巳	教士 七段	南部
選手	依田 保	参段	富士川
選手	大和田 幸子	五段	南アルプス
補員	和智 一雄	教士 七段	上野原
補員	小林 弘子	錬士 六段	南アルプス
補員	菱山 忠夫	錬士 六段	笛吹

全日本勤労者弓道大会 県予選

令和5年4月9日(日) 小瀬武道館弓道場

令和5年6月16日~18日 佐賀県多久市で開催される標記大会への県代表チーム選考予選会が開催され、2チームが選抜された。

チーム名	選手名	的中	合計的中	
小林商事A	渡辺 昌彦	3中	13中	県代表
	桑原 良	5中		
	小林 裕一郎	5中		
山梨通運	伊藤 大智	3中	8中	
	伊藤 小乃夏	2中		
	中村 昌夫	3中		
石原工業A	織田 学	2中	4中	
	久高 玲人	0中		
	加藤 一輝	2中		
横河電機A	鮫島 誠一	5中	8中	
	寺島 弘祐	1中		
	石田 大紀	2中		
横河電機B	輿石 大樹	1中	5中	
	五味 峻太郎	4中		
	山田 久美	0中		
石原工業B	根津 里美	4中	13中	県代表
	藤本 航也	4中		
	神田 英彦	5中		

段位別 兼 全日本・関東選抜

一次予選

令和5年4月16日(日) 小瀬武道館弓道場
午前中に参段以下、四段の部、午後から五段の部
および称号者の部とした2部制での開催となった。
また本大会で4中以上は5月29日の2次予選に
進出。結果は以下のとおり。

大会での矢渡しが開された



射数 4矢2回 計8射
参加申込人数 37名
参段以下の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	渡辺 啓和	富士吉田	弐段	6	○ ○
2位	上田 泉	甲府	参段	6	○ ×
3位	高橋 若奈	甲府	弐段	6	× 遠近競射による

6中5名による射詰競射

参加申込人数 26名

四段の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	鈴木 誠	甲州	四段	7	
2位	赤澤 英里	甲府	四段	5	遠近競射による
3位	深澤 小夜	南アルプス	四段	5	

参加申込人数 24名

五段の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	高橋 彼方	笛吹	五段	6	○ ○ ○ ○
2位	桑原 良	富士吉田	五段	6	○ ○ ○ ×
3位	西尾 哲	大月	五段	6	○ ×

6中5名による射詰競射

参加申込人数 33名

称号の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果	
					24cm的	
優勝	小俣 太一	大月	錬士五段	7	○ ○ ○ ×	× × ○
2位	上條 剛央	上野原	錬士六段	7	○ ○ ○ ×	× × ×
3位	佐野 弥生	甲府	教士六段	7	○ ×	遠近競射による

7中4名による射詰競射



参段以下の部



四段の部



五段の部



称号の部

昇段・昇格おめでとうございます

令和5年2月2日 名古屋定期中央審査

七段 綿奈部 博史 (甲府)

令和5年2月4日 名古屋定期中央審査

六段 根津 里美 (笛吹)

令和5年2月5日 東海錬士臨時中央審査

錬士 渡邊 裕介 (甲府)

錬士 内藤 良太 (南アルプス)

令和5年4月23日 関東地域連合審査

五段 深澤 小夜 (南アルプス)

編集後記

新たな役員を迎え新年度がスタートしています。以前のような活動も戻りつつあります。皆さんも積極的な参加をお願いします。

koho39ren@kyudo-yamanashi.com (綿奈部)